



埼玉県校友会
会 長
小玉 秀生
(1968・文)

埼玉県内の校友の皆様、日頃は埼玉県校友会の活動に関心をもちいただき、また、何かと物心両面で支えていただき誠に有難う御座います。また、若き後輩をサポートする目的で運営されている「校友会未来人材育成基金」へのご協力もこの場を借りてお礼申し上げます。

今年も皆様に1年間の活動報告と校友紹介、在校生の紹介、そして総会のご案内を差し上げる時期が来ました。

現在、県内には戦前に立命館大学を卒業された先輩を含め約2,700名の校友がお住まいです。立命館大学は昭和



ともに歩みましょう!

2019年は立命館大学校友会100年記念、埼玉立命30周年記念の年

年代7学部でしたが、今年新たに食マネジメント学部が新設され16学部となり、国際化を視野に入れた総合大学に向かって歩みを続けています。卒業生は約36万人超で、そのうち平成年度卒業生が半数を超え、新しい世代の校友が育ってきています。お近くに校友がお住まいではありませんか?

今年も若い校友達の活動も活発で、若さ+成年パワー(?)がかみ合っ今後活動がより活発に推移することを願っています。埼玉県校友会の日頃の活動予定等は立命館大学校友会の埼玉県校友会ホームページにその都度ご案内しています。是非、ご関心を持っいただきアクセスしてください。そして諸行事に気軽に参加頂ければ幸いです。同時に、こんな企画で動くのはどうかとか、様々なご提案があればご投稿戴ければ嬉しい限りです。

今後も近隣校友会とも従来にもま

て交流を重ね、より幅広く活動が出来れば幸いかと存じます。今年は仙台で10月20日(土)に校友大会が仙台国際センターで開催されます。仙台に校友がいっしょにいればこの機会に仙台に足を運ばれては如何でしょうか?

また、昨年ご案内しましたが、2019年は立命館大学校友会創立100周年であり、10月19日(土)に国立京都国際会館で盛大に100周年記念大会が予定されています。

そして、その年は埼玉県校友会も30周年を迎えます。多くの校友にご参加いただき、盛大な「彩の国・校友の集い」が開催出来ればと思って、今後も幹事一同頑張っ活動を続けて行きたいと思っています。

新しい交わりを求め、懐かしいあの時代を語り合い、新しい刺激を受け、愉快的な仲間を求めて埼玉県校友会の活動にも是非ご参加ください。



会 場 越谷コミュニティセンター
埼玉県越谷市南越谷1-2876-1

JR武蔵野線 南越谷駅
東武スカイツリーライン 新越谷駅) 徒歩3分

会 費 **7,000円**
2014年度以降の卒業生は **5,000円**

タイムスケジュール

総 会	11:30 ~ 12:00
講 演 会	12:00 ~ 13:15
懇 親 会	13:15 ~ 16:00

申込み方法 出席を希望される方は右記のいずれかの方法よりお申し込みください。

第29回総会・懇親会

彩の国・校友の集い

2018年11月11日(日)

11:30~16:00 (受付: 11:00)

食マネジメント学部の開学式典に向けて、ナポリのピザ協会からはフルサイズのピザ窯、ソレント半島の小さな街からは魚醤の樽が届けられました。学部開設の思想と、それに関連して、この2つのトピックについてお話しいたします。

講 演 会

「食マネジメント学部
ー ナポリの窯と樽」



講師紹介

石田 雅芳教授
(いしだ まさよし)
立命館大学
食マネジメント学部教授

① 埼玉立命ホームページ「参加申し込み」のページから申し込む。

② 裏表紙のFAX送信票に必要事項を記入し、立命館大学東京キャンパスまでFAXする。

第28回「彩の国・校友の集い」

上條 比呂志 (1983・文)



▲メディックスのコーラス

平成29年11月11日(土)、越谷市にある越谷コミュニティセンターで、第28回「彩の国・校友の集い」総会・懇親会が開催されました。

当日は、埼玉県の校友、御来賓(大学関係者・近県校友会役員の方々)、合唱団メディックスのメンバー、計46名が参加し、加藤慎一常任幹事の司会進行で行なわれました。

最初に、小玉秀生会長の挨拶後、立命館大学文学部日本史学専攻教授桂島宣弘様より「幕末維新期の志士と民衆から学ぶもの」について講演があり、激動の時代、志士と庶民はどんなことを思い何を考えて生活していたのか等興味深いお話を聴くことが出来ました。

その後、総会を開会。合唱団メディックスのコーラスに合わせて校歌を高らかに歌い、学校法人立命館常務理事建山和由様、立命館大学校友会副会長伊藤博行様による御来賓挨拶がありました。

また、埼玉県校友会の議事が行われ、緒方仁幹事長、伊佐由美子会計、川添修司監査による活動報告及び会計報告、活動計画及び予算計画、監査が報告され、全て承認されました。

引き続き開催された懇親会は、内野生朗副会長の司会で行なわれ、最初に、群馬県校友会石橋博会長より御来賓祝辞をいただいた後、埼玉県校友会の中で参加者中最高齢である中尾明久様による乾杯で始まりました。

合唱団メディックスによる合唱曲数曲の披露及び初参加者の挨拶後、佐古稔英常任幹事司会によるテーブル対抗クイズゲーム等が行なわれ大変盛り上がりしました。また、昨年と同様に、同じ学部出身者ごとに記念写真を撮り、出席者全員で応援歌を歌い、鈴木昌治副会長による閉会のご挨拶で楽しい懇親会がお開きとなりました。

最後の応援歌斉唱に際しては、茨城

県校友会幹事長木山秀一様から演舞をしてもらいましたが、乾杯をした中尾明久様が「私も大学のとき応援団だった。」と突然告白した為、中尾大先輩にも演舞をしてもらうという予想外の展開に会場の盛り上がりはピークとなりました。

今年も11月11日(日)に「彩の国・校友の集い」が同じ会場で開催されます。多くの方々に集まっていただき、昨年以上に楽しい会になることを願っております。

次回

2018年 第29回
「彩の国・校友の集い」
総会・懇親会のお知らせ

今年も11月11日に開催されます。
詳細・お申し込み方法は一面をご覧ください。
ご参加をお待ちしております。

第13回埼玉立命ゴルフコンペ

伊藤 貞夫 (1975・経営)



第13回埼玉立命ゴルフコンペは平成30年3月29日(木)、大宮ゴルフコースにて行いました。大宮ゴルフコースは埼玉県上尾市で都心に近く本格的な林間コース、また桜で有名なゴルフ場です。

当日の参加者は8名、天候も快晴で、桜前線の情報によると東京・埼玉界隈

の満開日が3月29日と言う事も重なり、全員が桜を満喫いたしました。

優勝者は東京校友会・副幹事長茨木紀夫様でした。

ゴルフの楽しさは自然に触れ合い、風の音や鳥の鳴き声、草花の匂いと四季を感じる楽しさもあり、ストレス解消、健康維持等にもなります。

校友の皆様も桜の木々や松林にセパレートされたグリーンの絨毯を闊歩しながらゴルフをしませんか。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

次回、秋の第14回埼玉立命ゴルフコンペは10月5日(金)、埼玉県上尾市の『リ

バーサイドフェニックスGC』を予定しております。

埼玉立命のゴルフコンペは毎年「春・秋」に2回実施しており、埼玉立命のホームページにも申込み窓口を設けておりますので日程調整を図り一人でも多くのご参加をお待ちしております。



▲満開の桜の前にて

埼玉立命ユース紹介

リーダー
加藤 慎一 (2010・産社)

サブリーダー
佐古 稔英 (2012・経営)

埼玉県校友会では、若手・女性の参加を促進する目的で若手中心のグループ「埼玉立命ユース」を2013年に結成いたしました。これは埼玉在住の卒業10年目までの皆さんに広く参加いただき、校友会活動に興味を持ってもらおうと同時に、今後の活動に積極的に参加いただくきっかけとするためのものです。

これらの活動を行う上で、Facebookにて「埼玉立命ユース」のページを開設し、イベント告知や活動報告などの発信を行っています。また、イベント開催時には校友会本部補助金等を活用させていただき、主に金額面において若者がより参加しやすい環境づくりに努めているほか、リコネクト東京のイベント開催時には埼玉県校友会の若手に声掛け活動をおこない、校友会とリコネクトの関係強化にも努めています。

今年は、父母教育後援会事務局主催のもと、埼玉在住の新卒校友、現学生の親御さん、埼玉県校友会が一堂に会して交流を図る「新卒校友ウェルカムパーティー」が開催されました。ユースリーダーの加藤から、親御さんや新

卒校友に向けて埼玉県校友会や埼玉立命ユースの活動などを報告し、受け入れ体制が整っていることをアピール。後日開催予定だった毎年恒例の「ボウリング大会&BBQ」は台風の影響で9月23日に延期となりましたが、ウェルカムパーティーに参加した新卒校友複数人から申し込み希望があり、今後のユース活動の活性化へのつながりが期待できるイベントです。

埼玉県校友会は、非常にアットホームな会です。人数だけで見ると大人数の校友会ではありませんが、50歳以上の年齢差があるにもかかわらず、まるで同世代の集まりであるかのようにいつも笑いが絶えません。これも、若手を快く受け入れていただける先輩方がいるからこそだといつも感じています。

最後に、校友会の中で企画の立案から実施までを経験できることが、我々ユースメンバーにとって大きな財産になっています。我々が校友会の中で積極的に活動していくことは、間違いなくこれからの新しい校友会活動の一步となりますし、5年後、10年後の校友会を活発なものとするために今後も絶対に必要なことであると考えています。今後も様々な企画を開催し、埼玉県校友会の発展を目指して活動して参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



▲若手合宿(伊豆)の様子。全国から若手が集まり、親睦を深めました



▲スキー・スノボ合宿の様子



▲ラフティングの様子(長瀬)



▲お花見の様子。女性メンバーも結婚・出産を経て参加してくれました

AEE ALL Equipments for Education
代表取締役社長

常田 幸正

(1961 文)

株式会社 文施総研・文施設総合研究所
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル
TEL. 03-3512-2421 / FAX. 03-3512-2422
E-mail: tsuneda@onsa-aee.jp (office)
JZT02140@nifty.ne.jp

小玉 秀生

(1968 文)



事務局長

谷澤 正己
(1968 法)

由紀さおり・安田祥子
+ こどもの歌を考える会 +
ソレアード
SOLEADO

ソレアード事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-23
キーン・アール・赤坂604
tel. 03-3582-0438
fax. 03-6234-4832
携帯 090-4004-9154
e-mail: tanizawa-soleado@tune.ocn.ne.jp
www.yuki-yasuda.com

緒方 仁

(1969 経営)

鈴村 泰男

(1969 経営)

伊藤 貞夫

(1975 経営)

校友紹介 永倉 素子様

昭和38年法学部卒業

広小路校舎—1959年～1960年(1回生から2回生)のころ—皆様にお世話になりました。

1. 1959年2月1日

「身につけた学問や教養は時代の変遷にあっても剥がされることがない」と話す父の勧めもあって、18歳の私は法学部特別推薦枠入試受験のため、広小路校舎を訪れました。

入試は筆記と面接で、面接では先生方から高校生活や趣味について聞かれ、趣味は読書とテニスと答えますと「どんな作家?どんな本?」と質問されました。中勘助の「銀の匙」とシュトルムの「みずうみ」と申しましたら「君、なかなかロマンチストやなあ」と一氣に場が和みました。

入学後、面接の法哲学・天野先生や法制史の北山先生方に、わだつみ像のあった中庭で出会うと「元気かい」とよく声をかけられ、「はあーい」と気楽に返事していましたが、大教室の講義で目にとまると質問が飛んで来て答えられず恥もかきました。今になって、一人の女子学生にも心を配ってくださっていたのだと思い至ります。



▲1回生の頃

2. 下宿

父の友人で一乗寺にお住まいの文学部の国崎望久太郎先生の紹介で、叡電・修学院駅近くの2階6帖、光熱費込み1ヶ月3,000円の部屋に下宿しました。白川通りが宝ヶ池まで新道路建設中の頃でした。

閑静な住まいでしたが、1年ばかりして空き巣に入られ、階下の夫婦は金銭の被害に遭い、私はトランジスタラジオが玄関に転がされ、机の中の現金は、ばらまかれていました。警察は、学生だとわかって盗まなかったのだらうとのんびりした話をしていますが、以後部屋に入るのが怖い毎日で、岡崎京都会館近くに引っ越す原因になりました。

3. 法学部同期女子学生

京都洛北高校出身のAさん、秋田高校出身で下鴨女子寮生Kさん、四国出身のKさん、広島女学院出身のNさん、落ち着いた大人っぽいHさん、大將軍の自宅から通学していたHさん、福岡県伝習館出身の私と、文学部からの編入生の合計8名でした。

Aさんとは語学のクラスが同じで、秋田高のKさんとは映画研究部に一緒に入り、私達3人は学生食堂でよくお昼を食べました。定食、カレー、ラーメンが40円でした。お米を持って行き食券に変えてもらう制度もありました。

Aさんとは、古門前通にあったAさん宅で泊まりがけの勉強をしたり、ご成婚の皇太子さまと美智子さまの上洛パレードを烏丸通まで見にいったり、Aさんの計らいで修学院離宮を訪れたりして親しく過ごしました。色白でつぶらな瞳のAさんに憧れた男子学生が多くいました。

Nさんは女子校出身らしい華やかさがあがり、口紅を塗り、初夏のピンクの半袖スーツ姿は制服を脱いだばかりの私には眩しく輝いて見えました。

4. 単位、勉強のこと

尊敬していた末川先生は、ご退任間近で、法学部の教養課程では講座がなく、経済学部の「法学」を聴講したりしました。

1回生での強烈な思い出は、乾昭三先生の「政治学」です。マックスウェーバーを知り、高校では経験したことのない1問のみの設問「圧力団体について述べよ」は受講生の3分の2が不可になったともしばらの噂でした。乾先生は当時、新進気鋭の政治学者でいらっしゃいました。

法学部女子は人数が少ないために教養体育の単位を取るのに苦労しました。折しもミッチーブームでテニスは満員、他学部的女子と合同でバドミントン組に入り、府立医大裏の鴨川の河原のコートで競技をするのは川風に煽られて至難の業でした。足りない単位は西京極球場で野球の立同戦の応援や、高雄や保津峡へのハイキングで賄いました。引率は医学博士の体育の先生でした。

5. アルバイト

初めてのアルバイトは大丸デパート紳士用品売場でした。映画研究部の先輩の自宅が宮川町のお茶屋さんで、お客様を通しての紹介でした。仲良しのAさんを誘って、挨拶と包装の研修を受け売場に立ちました。立ち仕事は想像以上に大変で脚がパンパンに膨れましたが、働くのが楽しくて頑張れました。閉店の6時になると、裏の出口はお迎えの男性でござった返していました。2番目の四条柳馬場にあった田辺経営相談所はNさんとのジャンケンで負けて行ったところでしたが、恵まれたアルバイト先で卒業までずっと続けることができました。仕事は宛名書きや雑用で、時には大阪淀屋橋だったか白洋舎ビルの田辺経営へお使いもしました。12月のボーナス時期にはアルバイト生にも金一封が渡され驚きました。創業間もない京都セラミックや任天堂、島津製作所等、大躍進する企業名や貸借対照表といった会計用語もここで知りました。

アルバイトからの帰りは、錦市場、四条通、花見小路、白川沿いを歩いて帰りました。当時、白川では友禅染の反物が水にさらされて美しい色模様が見られることもありました。

6. 学生運動(60年安保闘争)

1959年～1960年は安保闘争で、授業が休講になったりしました。1回生の私達も映画研究部の先輩と円山公園までデモに参加しました。府学連委員長で京大経済学部の北小路敏さんのダスターコートとズック靴姿にただ見とれている私で、「安保反対」についての理解度は怪しいものでした。

1960年6月15日の樺美智子さんの圧死事件で、戦後最大の大量運動となりました。

7. 最後に

卒業後55年、現在78歳、年齢相応の健康と余暇を得て、リコーダーオーケストラでBassリコーダーを楽しんでいます。学生時代は映研もマンドリンも半端で退部しましたが、リコーダーはどのグループに行っても長く続けている最年長者のひとりになりました。

この度、大学時代の思い出を書く機会を得てまとめ始めると、どの場面でも回りの方々から暖かい手助けがあったことに改めて気づきました。様々な場面で手を差し伸べてくださった立命館、友人、京都、お世話になったすべての皆様に御礼を申し上げたい気持ちで一杯です。有り難うございました。



▲ヤマハ銀座のリコーダーオーケストラでバス笛を吹く筆者(左から4番目)

在校生紹介 有我 愛加さん

新座市出身
経営学部 3回生

高校生の時、立命館大学応援団チアリーダー部の活動を見学し、勉強に加え就職活動、応援活動、競技チアと多方面に懸命に取り組む先輩方と出会い、立命館大学でチアリーダー部の活動をしたいという気持ちが高まりました。とは言え関東在住の私が親元離れ、友達も知り合いもない関西の地へ一人で挑めるものか悩みました。そんな私に、親から不安ならやめなさい、中途半端な気持ちで出来るはずがないと反対されましたが、その言葉が逆に私の負けん気に火をつけ、進学を決意しました。

入学した経営学部の授業は学びの好奇心を刺激されます。私が所属する「組織とマネジメントコース」では、社会における企業の役割や重要性を学びながら、時には私なりに組織をチアリーダー部に置き換えて考察するなど、受け身ではなく、自ら考える力と行動力を身につけています。

チアリーダー部では、応援団として大学行事や様々な体育会クラブの応援に駆けつけるだけでなく、各地の校友会の皆様からたくさんの出演依頼をいただき、元気・勇気・笑顔を届けるために会場を盛り上げます。それは炎天下の試合会場であったり、極寒の路上であったり、与えられた環境で精一杯のパフォーマンスを繰り広げています。学業との両立のために履修曜日を工夫するなど様々な努力をしながら活動しています。



▲世界チアリーディング選手権大会

競技面では、競技専門に活動している大学と比べ、極端に練習時間が少なくなってしまう。そのような環境でも集中して成果を上げられるよう、話し合いながら真剣に練習に取り組んでいます。全国大会では僅差でメダルを逃しましたが、強豪校の一角として全国トップレベルを争えるチームに成長しました。そして、昨年、私は日本代表として選ばれ、11月に群馬県で開催された世界チアリーディング選手権大会に出場し、2大会ぶりの優勝に貢献できました。このような素晴らしい機会を与えていただき、優勝という

結果に結びつけられたことは、立命館大学で学び、たくさんの仲間と出会い、困難に立ち向かうことを楽しみ、やり抜くことができたからだと思います。応援して下さった皆様に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

立命館大学、そしてチアリーダー部の活動で学んだことを活かし、社会のために貢献する企業で働きたいと考えています。



▲学生生活の様子

2018年度 役員名簿

名誉顧問	1951 法 丹羽尊照	1953 経済 曾田豊吉	1955 理工 太田八郎
顧問	1960 経済 橋本豊英		
相談役	1965 法 西垣義明	1961 文 常田幸正	
会長	1968 文 小玉秀生		
副会長	1969 経営 緒方仁	1977 経営 鈴木昌治	1981 経営 内野生朗
幹事長	1983 文 上條比呂志		
副幹事長	1988 産社 榎本哲郎	2010 産社 加藤慎一	
会計	1987 文 伊佐由美子		
監事	1963 法 川添修司	1969 経営 豊岡雅範	
常任幹事	1960 経済 山本孟人	1963 法 永倉素子	1967 理工 金原政敏
	1968 法 谷澤正己	1969 経済 梶島康夫	1969 経営 鈴木泰男
	1970 理工 太田坦	1971 理工 木藪和彦	1971 理工 清水哲雄
	1975 経営 伊藤貞夫	1976 経済 岡田英治	1980 理工 菱崎裕人
	1981 理工 中尾陽	2009 経営 山本博基	2012 経営 佐古稔英
幹事	1959 法 新井勝	1959 理工 下野均	1960 理工 北川英雄
	1963 理工 上田勝	1968 経営 鬼木義明	1968 文 五井章雄
	1971 産社 上林山秀孝	1971 文 真部はるみ	1971 法 横田高弘
	1972 経営 八代裕昭	1977 産社 大熊章一	1985 理工 多田浩之
	1987 理工 田中正三	2003 経営 田本淳治	2011 経営 大倉淳

埼玉立命ユース

リーダー	2010 産社 加藤慎一
サブリーダー	2012 経営 佐古稔英

西支部

中央支部

東支部

支部長	1971 理工 清水哲雄		1969 経営 鈴木泰男		1981 理工 中尾陽	
副支部長			1987 文 伊佐由美子			
構成市町村	朝霞市	入間市	川口市	戸田市	春日部市	久喜市
	ふじみ野市	川越市	鳩ヶ谷市	蕨市	越谷市	幸手市
	坂戸市	狭山市	さいたま市	上尾市	草加市	蓮田市
	志木市	鶴ヶ島市	伊那町	桶川市	三郷市	八潮市
	所沢市	新座市	加須市	北本市	吉川市	栗橋市
	飯能市	東松山市	行田市	熊谷市	杉戸町	松伏町
	日高市	富士見市	鴻巣市	羽生市	鷲宮町	駒西町
	和光市	越生町	深谷市	本庄市	菖蒲町	白岡町
	三芳町	毛呂山町	江南町	寄居町	宮代町	
	小川町	川島町	大利根町	北川辺町		
	ときがわ町	滑川町	神川町	上里町		
	鳩山町	吉見町	美里町			
	嵐山町	秩父市				
	小鹿野町	長瀬町				
	東秩父町	皆野町				
	横瀬町					

2017年度 埼玉県校友会活動報告

2017年

4月	2日	日	花見大会（大宮公園）
	22日	土	第1回 幹事会
5月	11日	木	第12回 ゴルフ大会（東松山カントリークラブ）
	20日	土	清龍酒造 酒蔵見学（蓮田）
6月	3日	土	立命館大学校友会幹事会（朱雀キャンパス）
	10日	土	第2回 幹事会／会報誌「埼玉立命」編集会議
	17日	土	新人歓迎会（リコネクト）
7月	22日	土	第8回 ボウリング大会（浦和スプリングレーンズ）
8月	5日	土	戸田花火大会（埼玉立命ユース）
	31～3日	木～日	全日本ボート大学選手権大会 応援
9月	1日	金	新都心ビール祭り
	2日	土	第3回 幹事会／会報誌「埼玉立命」発送
10月	14日	土	第4回 幹事会
	21日	土	オール立命館校友大会2017 in 京都
11月	3日	金	第5回 幹事会
	11日	土	「第28回彩の国・校友の集い」 総会・懇親会
12月	9日	土	クリスマスパーティー2017（埼玉立命ユース）

2018年

1月	20日	土	第6回 幹事会／埼玉立命 2018年新年会
2月	3日	土	スキー・スノボ合宿（埼玉立命ユース）
	24日	土	全国都道府県校友会代表者会議
3月	10日	土	第7回 幹事会

2018年度 埼玉県校友会活動予定

4月	1日	日	花見大会@大宮公園（ユース）
	21日	土	第1回幹事会
5月	26日	土	歴史散歩
6月	2日	土	立命館大学校友会幹事会/朱雀キャンパス
	9日	土	第2回幹事会／「埼玉立命」編集会議
7月	8日	日	父母教育懇談会
	8日	日	新卒校友ウェルカムパーティー@ラフレさいたま
	14、15日	土、日	リコネクト合宿（ユースが参加）
8月			花火観賞（ユース）
	1日	土	第3回幹事会「埼玉立命」会報誌発送
	6～9日	木～日	全日本大学選手権応援（戸田ボートコース）
9月	8日	土	さいたま新都心 けやきひろばビール祭り
	23日	日	ボウリング&BBQ大会@浦和スプリングレーンズ
10月	5日	金	第14回埼玉立命秋桜ゴルフコンペ
	13日	土	第4回幹事会
	20日	土	オール立命館校友大会@仙台
11月	3日	土	第5回幹事会（総会準備）
	11日	日	「第29回彩の国・校友の集い」 総会
12月	8日	土	酒蔵見学会（行田：横田酒造）
	15日	土	クリスマスパーティー（ユース）

2019年

1月	19日	土	埼玉県校友会新年会&第6回幹事会
	3日	日	節分祭@加須 不動岡不動尊
2月	9、10日	土、日	スキー・スノボ合宿（ユース）
	23日	土	全国都道府県校友会代表者会議@京都
3月	9日	土	第7回幹事会
			第15回埼玉立命桜ゴルフコンペ

公認会計士

鈴木 昌治
(1977 経営)

有限責任監査法人トーマツ

〒100-6211 千代田区丸の内1-11-1 PCPMビル
TEL. 03-6213-1010内野 生朗
(1981 経営)

株式会社浦野設計

上條 比呂志
(1983 文)東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL. 03-3811-9128 / FAX. 03-3811-9582
E-mail: h-kamijou@urano-s.jp
URL: http://www.urano-s.co.jp

2017年度収支報告書および2018年度収支予算書（案）

（2017年4月1日～2018年3月31日）

（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位:円）

（収入の部）				（支出の部）			
	2017予算額	2017実績額	2018予算(案)		2017予算額	2017実績額	2018予算(案)
年会費収入	180,000	144,000	160,000	定期総会費用	455,000	365,603	400,000
定期総会・会費収入	240,000	189,000	250,000	印刷・通信費	350,000	339,727	350,000
寄付金収入(支援金を含む)	250,000	244,000	250,000	(総会関連)		328,108	
校友会本部活動費補助	170,000	85,000	70,000	(ユース活動)		0	
校友会本部ユース活動費補助			50,000	(その他)		11,619	
				慶弔費・交際費	80,000	50,000	80,000
広告収入	120,000	100,000	150,000	幹事会費	5,000	23,455	10,000
				支部・イベント活動支援費	70,000	29,262	30,000
				ユース活動支援費(本部補助含む)			80,000
雑収入	0	17,918	20,000	雑支出	0	265	
本部交通費補助	0	200,480	200,000	全国会議等交通費	0	200,480	200,000
小 計	960,000	980,398	1,150,000	小 計	960,000	1,008,792	1,150,000
前期繰越金（現預金）	447,112	447,112	418,718	次期繰越金（現預金）	447,112	418,718	418,718
合 計	1,407,112	1,427,510	1,568,718	合 計	1,407,112	1,427,510	1,568,718

特定社会保険労務士

伊 佐 由 美 子
(1987 文)

エクセルアート株式会社

代表取締役社長

榎 本 哲 郎
(1988 産社)〒104-0043 東京都中央区湊1-1-16
TEL. 03-3552-2201 / FAX. 03-3552-2271
URL http://www.excelart.co.jp/「活動報告」「参加申し込み」
などの詳細は埼玉立命のHPに出て
います。ぜひご覧ください。

埼玉立命

検索

→ 埼玉県校友会年会費・支援金用払込用紙です。

02	東京	払 込 取 扱 票										通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号										金額				千 百 十 万 千 百 十 円					
0	0	1	2	0	7	1	5	7	9	3	6	金額				千 百 十 万 千 百 十 円			
加入者 立命館大学 埼玉県校友会										料 金				備考					
※ お振込金の内訳 年会費 3,000円 支援金 1,000円 × 口 合 計 円																			
昭 平 年 学部 専 門 卒 退 科 退																			
※ おところ（郵便番号） おなまえ 様 日 附 印																			
※ ご依頼人（電話番号）																			

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第 52187 号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	2	0	7	通常払込 料金加入 者負担			
加入者名	立命館大学埼玉県校友会									
金額	千 百 十 万 千 百 十 円									
ご依頼人	おなまえ 様									
料金	日 附 印									
備考										

この受領証は、大切に保管してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでください。

2017年度 校友会支援金 拠出者名簿

- 30,000円 常田幸正
- 10,000円 小玉秀生、橋本豊英
- 7,000円 鐘田浩士、谷澤正己
- 5,000円 伊藤貞夫、岩切健
- 2,000円 荒谷俊文、伊佐由美子、榎本哲郎、鬼木義明、小野塚政一、諧隆雄、上條比呂志、川添修司、小林克久、砂子田勝昭、多田利男、中尾明久、永倉素子、成田典昭、真部はるみ、菱崎裕人、八代裕昭
- 1,000円 嶋村卓、下野均、竹澤敏夫、中尾陽、松村隆、若杉秀雄（敬称略、五十音順）

2017年度 校友会年会費 納入者名簿

相澤紀史、荒谷俊文、伊佐由美子、伊藤貞夫、上原哲也、内野生朗、榎本哲郎、岡田英治、緒方仁、鬼木義明、小野塚政一、加藤慎一、金井義介、鐘田浩士、金原正敏、諧隆雄、上條比呂志、川添修司、小玉秀生、小林克久、砂子田勝昭、佐古稔英、嶋村卓、清水優、下野均、鈴木昌治、鈴木泰男、竹澤敏夫、多田利男、谷澤正己、常田幸正、豊岡雅範、中尾明久、中尾陽、永倉素子、中野弘、中牟田雅、成田典昭、橋本豊英、松村隆、真部はるみ、三浦淳史、水野真紀、菱崎裕人、八代裕昭、山本孟人、若杉秀雄（敬称略、五十音順）

年会費・支援金の納入にご協力をお願いします。

年会費 **3,000円**

支援金 1口 **1,000円**

（何口でも結構です）

埼玉校友会誌「埼玉立命」の発行費用、ホームページの運営費、総会案内等の同封発送費等は皆様からの年会費・支援金によって支えられています。今後の校友会活動を継続させていくためにも、年会費納入による積極的なご支援をお願い致します。

埼玉県校友会・会長 小玉 秀生



FAX 送信票

※必要事項をご記入のうえ、
10月24日までにお送りください。

FAX送信先: **03-5224-8189** (立命館大学東京キャンパス)

彩の国・校友の集いに (いずれかに○をつけてください。)

出席 ・ 欠席

氏 名	(旧姓)		卒業年次	西暦	年 卒	学部
						科
〒						
現住所						
TEL			E-mail	@		

(ご注意)
 ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

通 信 欄

インターネットからでも振込できます。

- ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方で、かつゆうちょダイレクトの契約をされている方。
→オモテ面に記載の口座番号あてにお振込みください。
- 他の銀行（インターネット含）からお振込みされる場合
→以下の口座番号あてにお振込みください。

ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキュー店) 店番: 019
 預金種目: 当座 口座番号: 0157936
 口座名: 立命館大学埼玉県校友会

※この用紙を使わずに上記の方法でお振込みされる場合は、必ず氏名の後に卒業年と学部をご記入ください。

← 総会・懇親会の会費は当日会場にてお支払いをお願い申し上げます。
 埼玉県校友会年会費・支援金用振込用紙です。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。